

活動状況報告（7月）

学生留学コース 5期生 藤原 香夏

今月の活動報告書では、今月参加した2つのボランティア活動について報告いたします。

まず、1つ目はFIVB Volleyball World Beach Pro Tourのボランティアに参加しました。コートサイドでボールに付着した砂を取り払いサーバーの選手にボールを渡すボールリトリバーや試合のタイムアウト時に選手が飲む飲料の管理を行いました。この大会は、5つのコートで各国代表選手たちが試合を行っていました。日本代表の選手たちも出場していましたが、残念ながら私が担当したコートとは別のコートでの試合だったため試合を見ることはできませんでした。準々決勝以上の試合が行われるコートでは専属DJが試合を盛り上げ、ある種お祭りのような雰囲気もありました。

海に面していないエドモントンの街の中心部でのビーチバレーボール大会開催のため、もちろん海岸はありません。エドモントン市のホームページには、この大会に関して”都市型ビーチバレーボール”と謳っており、ダウンタウンにある屋外の広いコンクリート敷地に砂やコートが運び込まれ、立派な会場が創造されていました。ビーチがなくとも運搬し設営するという発想は非常に興味深いものでした。

そして2つ目に参加したのは、FIBA 3x3 World Tour Masters & Women's Seriesのボランティアです。3x3とは3人制のバスケットボールで、エドモントンは2023-2025年の3年間FIBA World 3x3 Tourのカナダ開催都市となることが決定しているようです。この大会は、プロの試合と市民の試合が同会場で行われ、私は市民の試合のスコアキーパーを担当しました。市民競技者は小学生から大人まで幅広い年齢と幅広いレベルのチームが参加しており、この競技の裾野広さを感じました。

また、3x3の大会期間中に試合会場から徒歩圏内にて開催されている”Taste of Edmonton”という市内のレストランが露店出店し、日本のお祭りのように歩行者天国で食べ歩きをするイベントの宣伝が3x3の会場で行われ、6月の報告書にも記載しましたが、スポーツイベントに訪れた人々を地元の飲食店や他のイベントへと導き、エドモントンの魅力を発信することに力を入れていると感じました。

この2つの大会はどちらもエドモントンのダウンタウンにあるFan Parkと呼ばれる屋外コンクリートの広い敷地で開催されました。Fan Parkは通常時は何もないコンクリートの敷地ですが、イベント時には特設会場を都度設営し、多様なイベントが開催可能です。スポーツ大会以外にも、この場所はエドモントンを本拠地とするプロアイスホッケーチーム”Edmonton Oilers”のプレーオフ時には、パブリックビューイング会場として大きなモニターが何台も設置されていました。

3年連続でワールドツアーの開催権を獲得している点や1カ月間に2つの競技のワールドツアーを開催する点などから、エドモントン市の行政やスポーツ団体のスポーツ大会に対する積極的な姿勢と、市民のスポーツに対する理解の深さも感じます。

多様なスポーツ大会が街で開催され、ボランティアとして参加し現場で多くのことを吸収できていることに喜びを感じています。引き続き、様々な経験を得て学び深めていきたいと考えていますのでご支援、応援の程よろしく願いいたします。



・ビルに囲まれたビーチバレーボール会場



・メインコートでの女子の試合



・3x3 市民ゲームコート



・プロ男子の試合

